

2024.09.30

新たな産官学イノベーション施設（バイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟）が竣工

神戸大学の新たなイノベーション施設であるバイオメディカルメンブレン研究・オープンイノベーション拠点棟（BMO棟）が竣工しました。

このBMO棟は、神戸大学における先端研究とスタートアップの活性化とオープンイノベーションの促進を目的としており、経済産業省「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備事業」による補助金と株式会社ダイセルからのご寄付による支援をいただき建設したものです。

1階のダイセルO1ホールは、学内外の方が自由に利用できるオープンイノベーションスペースとして、産官学連携のプラットフォームとしての機能を果たしてまいります。

また、2階にはスタートアップ企業のオフィス、3階には先端膜工学を中心としたラボが設けられています。

9月30日には多くの来賓を招いて竣工式が行われました。

最初に藤澤学長から六甲台キャンパスにおける産官学連携のコミュニケーションハブとして最大限に活用したいとの挨拶があり、祝辞をいただいた経済産業省イノベーション・環境局大学連携推進室の川上室長からスタートアップの創出、久元神戸市長から地域における人材交流拠点としての活用、株式会社ダイセルの小河代表取締役社長から産学連携によるイノベーション創出、株式会社三井住友銀行の角元副会長から関西全体の活性化と人材育成など、それぞれの期待をこめた祝辞をいただきました。

BMO棟は、隣接する産官学連携本部と(株)神戸大学イノベーションが運営し、スタートアップ企業の技術紹介や神戸大学起業部の学生によるプレゼンなどのイベントを定期的で開催しますので、お気軽にお立ち寄りください。

産官学連携本部

<http://www.innov.kobe-u.ac.jp/>

